



東明

□令和3年11月1日発行

□男鹿市立男鹿東中学校

男鹿市船越字根木169番地

生徒会世代交代 東中の新たな時代を築く

3年生から1、2年生へ受け渡された「英志」のバトン

前期の終了とともに、昨年度後期から今年度前期までの1年間、全校生徒のために活動してくれた生徒会執行部は任を終え、次の代に引き継がれることとなります。前後期をまたぐ10月は、生徒会の世代交代に関わる重要な行事が行われました。

10/6(水) 生徒会役員選挙立会演説会・投票

新生徒会役員に7名が立候補しました。(会長立候補2名、副会長立候補5名)立会演説会は、体育館に1、3年生、食堂に2年生と二会場に分けて行われ、立候補者と責任者がそれぞれの会場を渡り歩いて演説をしました。

立候補者からは、

- ・明るく楽しい学校にしたい。
 - ・コロナ禍でも全校でできるイベントを企画します。
 - ・目安箱を改善し、もらった意見をもとに東中をつくりたい。
 - ・東中生全員が安心して楽しめるような活動を積極的に提案していきたい。
 - ・コミュニケーションを大切に、心を交わし合える楽しい東中を目指します。
 - ・元気で明るい挨拶のパワーを借りて、笑顔一杯の学校にします。
- など、心強い公約が述べられました。



後半はいよいよ投票です。男鹿市役所から、選挙の際に用いられる実物の投票箱と記載台をお借りし、臨場感いっぱいの中で、投票に臨みました。厳粛な雰囲気の中で、次期の東中を委ねられる候補者を真剣に考え、誠実に投票している姿が見られました。東中生も、数年後には、実際に一票を投じる立場になります。投票することの意義や、その重みを考える貴重な機会となりました。



10/14(木) 生徒会引継ぎセレモニー

～前執行部の皆さん、1年間ありがとうございました～

執行部の活動で、特に印象深かったのはやはり学校行事です。

6月の運動会では、執行部発案の部活動対抗リレーを実現できたことが、本校生徒会にとっての大きな一歩でした。応援の際の全校生徒の笑顔や歓声、互いに声を掛け合ったり、ゴール後に喜び合ったりする姿は、ひととき印象に残りました。全校生徒の姿が輝いたのは、執行部の皆さんのおかげです。

9月の東中祭では、夏季休業前から準備を進め、感染予防の規制がある中においても、どのようにしたら全校生徒が充実感をもって楽しめるものになるのかを考えました。

開祭式の完成度の高いオープニングムービーは会場にいた全ての人の目を釘付けにしました。執行部員だけで作成したものとは思えない完成度でした。奇跡のチャレンジの成功場面をふんだんに盛り込んだ映像を撮影するには、かなりの時間と労力を要したものとされます。東中の永久保存版ムービーになりました。

合唱コンクールや有志発表の進行も、飽きさせないものであり、この時間がもっと続いてほしいと、会場にいた全員が思いました。

今期の執行部が活動した1年間は、新型コロナウイルス感染症予防と共に歩んだ1年間でした。そのような中で、よりよいものを求め、成功に導くには、例年以上に困難を極めたことと思います。改めて、一年間の数々の功績に感謝します。これで執行部としての任を終えるわけですが、皆さんの「志」が、次の執行部や1、2年生に確実に受け継がれるよう、この後も手助けや応援をお願いします。



△3年生の執行部の皆さん

新執行部から旧執行部へ、感謝の気持ちを込めて花束を贈りました△

10/29(金) 生徒会新役員任命式

～新執行部の皆さん、東中をよろしくお祈りします～

新執行部として任命された皆さん、おめでとうございます。これから執行部として積極的に活動していこうと、意欲に燃えていることでしょう。

生徒会執行部は、男鹿東中学校の生徒の代表です。つまり、東中の顔です。本校生徒の手本となり行動するとともに、先輩がこれまで築いてきた伝統をしっかりと受け継ぎ、守り、更に発展させていこう、学校をリードしていく責任があります。

皆さんの選挙演説は大変素晴らしいものでした。どうか、その公約を果たすべく、常に男鹿東中学校全体のことを念頭において、学校や全校生徒のためにできることに力を尽くしてください。

来年度、男鹿東中学校は創立50周年を迎えます。皆さんはその節目の一年を飾る執行部になります。先輩や地域の皆さんに感謝の気持ちをお届けするとともに、全校生徒で東中の50年を振り返り、更なる発展のために、できることを考えていくこととなります。これからの大変重要な一年間、男鹿東中学校の生徒会活動が一層充実したものになるよう、よろしくお祈りします。

(文責 森山)